

倫 理

学習目標



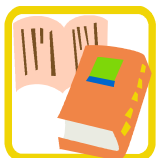
科目：倫理
履修：2年
共通
2単位

青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について、理解と思索を深めるとともに、人格形成に努める意欲を高めて、主体としての自己の確立をめざし、良識ある公民に必要な能力と態度を育てる。とくに、人間の尊厳についての倫理的な考え方を学びとる。

人間の在り方に関わる源流思想学習を主な題材として、自分の在り方を客観的に考察し、自らの高校生活と将来の進路選択について、自覚的積極的に取り組む態度を育てる。

年間授業計画

月	学 習 単 元	学 習 事 項 等
前 期	4 5	青年期をいかに生きるか (14時)
	6 7	ギリシア思想の 考え方と生き方 哲学的思索のおこりを学ぶ。善く生きることを主題に、ソクラテスの活動と思想を考察する。プラトンとアリストテレスを通じて、存在論、世界観、倫理観の理解を深める。
	9	キリスト教の考え方と生き方 キリスト教の母体・ユダヤ教の特徴を学ぶ。イエスの言行を導きに、その教えの精髓にふれ、キリスト教の深い精神性に接して、人間の在り方を考える。 (16時)
	10 11 12	(承前) 仏教の考え方と生き方 精神的背景として、バラモン教とその哲学であるウパニシャッドの哲学を概観する。シャカの豊穡な思索をたどりながら、心のあり方を考える。大乘仏教と上座部(小乗)仏教の形成への道筋をつける。 (16時)
後 期	1 2	中国思想の考え方と生き方 諸子百家のうち、儒家と道家の、二つの学派を取りあげる。仁と君子という概念を手がかりに、孔子が理想と考へた人間や政治を理解する。老子の道と無為自然を通じて、思索力を鍛える。 (19時)
	講 習	希望者は3年自選「倫理」の夏期講習「日本の思想」を聴講できる。 希望者を対象に(学年不問)、教養を深めるのに適したテーマを選んで、冬期講習を行う。
評 価 の 方 法	年4回の定期考査と、授業ノートや作文課題を評価の材料とする。評価対象となるのは、自己理解の手がかりとなる古今東西の諸思想についての、客観的な知識と理解の程度、ならびに正確な知識と理解に基づいて、他人に理解されうるように意見を表明する表現力である。学習成績の評価では、各人の意見の内容以前に、倫理思想に関わる人物と用語を知識として習得したか、考えの進め方を理解したか、それを文章として表現できるかが評価のポイントとなる。	



推薦図書・参考書

『ソクラテスの弁明』プラトン(岩波文庫)
『ギリシア神話』中村善也、中務哲郎(岩波ジュニア新書40)
『ブッダ物語』中村元、田辺和子(岩波ジュニア新書171)
『儒教とは何か』加地伸行(岩波新書)
『自分を知るための哲学入門』竹田青嗣(筑摩書房・ちくまライブラリー47)
『ソフィーの世界ー哲学者からの不思議な手紙ー』ヨースタイン＝ゴルデル(NHK出版)
『影との戦いーゲド戦記ー』ル＝グィン(岩波書店同時代ライブラリー100)